

デジタル化対応セミナー

中小製造業における それぞれのDXのカタチ

「DXを推進しよう!」と言っても、何をどうやって進めたら良いのでしょうか? DX推進のためにはビジョンを明確にして、段階を踏んで進めていく必要があります。アナログからデジタルへの転換、そこから新たな仕組みやビジネスを構築した事例を通して、自社が何をどう進めていくべきか考えていきましょう。

2022
2/25 金
14:00~16:00



セミナーはWEB上での
オンライン配信です。

ソフトウェアはZoomを使用します。
※参加手順は、お申し込み後に別途ご連絡します。

参加無料

※県西部地域以外の企業は1,000円(税込)

対象 中小製造業経営者

定員 50名 定員又は予定回線数に達した場合は、
締め切らせていただきます。

講演 1

14:00~15:00

金型屋が始めたIT/IoTの推進 ~データの5SからIoT活用まで~

【講師】株式会社IBUKI 生産部門 業務改革チーム チームリーダー 林 孝之 氏

講演 2

15:00~16:00

DXを活用した遠隔金型づくり[FuB]の取組み

【講師】株式会社ウチダ製作所 代表取締役 森 光賢 氏

中小製造業における
それぞれのDXのカタチ



株式会社 IBUKI
〈山形県西村山郡〉

講師 生産部門 業務改革チーム
チームリーダー 林 孝之 氏

1956年 株式会社安田木型製作所として設立。金型の設計・製造を主に、プラスチック成形品の製造、金型への微細な特殊加工の研究等を行う。リーマンショック以降、業務効率化を目的としてデジタル化に着手。取り組みやすい内容から進めることで、社内のデジタル化に対する意識が向上。IoTによる金型の内部状況の可視化、熟練技術者の知見を紐づけた見積りシステムや設計支援システムなど、自社で開発したシステムをサービス展開し、新たな事業の創出につなげている。



株式会社ウチダ製作所
〈愛知県知多市〉

講師 代表取締役 森 光賢 氏

1980年創業。愛知県知多市の自動車向けプレス加工部品メーカー。2017年よりIoT等のデジタル技術を活用し、地域の金型メーカーと連携して金型の共同受注を行う企業組合「FuB」を設立し“つながる工場”を構築。データ共有と設備能力、稼働情報の見える化を図り、連携して金型設計・製作を行うことで、大手・中堅金型メーカーの市場だった高難易度プレス金型の製作事業にも乗り出している。



WEB開催 「デジタル化対応セミナー」 参加申込書

申込方法

2月21日(月)までに、ホームページの申込フォーム、または下記申込書にてE-mail、FAXでお申し込みください。尚、参加費が発生する方については申込受付後、当財団より参加費の請求をさせていただきます。

ホームページ <https://www.hai.or.jp> E-mail jigyo@hai.or.jp FAX 053-450-2100

お問い合わせ

公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 事業推進部 事業支援グループ／菊本・山際
TEL: 053-489-8111 〒432-8036 静岡県浜松市中区東伊場2-7-1 浜松商工会議所会館8階

会社	会社名	TEL	FAX
	所在地 〒 □□□-□□□□ 県西部地域に本社、製造拠点等の主たる事業所がある。 あり <input type="checkbox"/> /なし <input type="checkbox"/> ※必ずチェックしてください。		
参加者	① 氏名	所属・役職	E-mail
	② 氏名	所属・役職	E-mail

個人情報保護に関する注意事項

申込書に記入いただいた個人情報は、上記の他、主催者及び共催者の事業等に関する情報や参加者募集の案内等の範囲内で利用または提供いたします。個人情報は、取扱目的以外に利用及び第三者に提供することはありません。